

新潟開港150周年記念

みなとまち新潟 歴史探訪②

図歴史文化課(☎025-226-2584)



信濃川と阿賀野川の河口が一つになった！

かつて、信濃川と阿賀野川が合流していたことを知っていますか。

江戸時代の初め、阿賀野川の大洪水がきっかけで、阿賀野川の水が信濃川に流れ込むようになりました。水量が減った阿賀野川の河口はふさがり、二つの川は合流して、巨大な一つの河口になりました＝**図上**＝。



延宝8(1680)年の新潟・沼垂

その結果、阿賀野川の河口を湊としていた沼垂、信濃川の河口を湊としていた新潟は新たな町づくりを進める必要に迫られました。

沼垂は、湊を信濃川に移そうとしましたが、信濃川の蛇行が激しく、新しい町も水没してしまいました。そのため、約50年の間に4回も町を移転し、現在の場所に落ち着きました。新潟も、湊としていた信濃川の岸が浅くなったため、大きな船が出入りできるように町を信濃川の中州に移しました。

沼垂と新潟。二つの町は、このようにして信濃川を挟む湊町となりました＝**写真下**＝。



現在の信濃川河口部と沼垂付近